

北社会ニュースオ60号

2009年11月30日

発行者：鈴木壮夫

本日、第277回北社会講師：岩淵 勲氏の趣味

“能（謡） ・ モーツァルト研究”

二週間程前、北社会のファイルを整理しようとテーブルの上に書類を並べていた。妻が掃除機を持ち込んできたので席を立て、終わるのを待っていた。音が途絶えたので、終わったのかなと思って妻を見るとテーブルの上の書類の一枚を眺めている。岩淵勲氏の略歴書だった。そして言った。「岩淵さんのような高尚な趣味を持っている人はピンピン会（高11回生）で会ったことがない」と。女子大時代、山岳部の他、狂言研究会にも参加し野村万作氏の指導も時には受けたという妻が“能”とか“謡”について話してくれた。先ず、岩淵氏の趣味“謡”とは能とか狂言の歌唱であること。そして能楽とは能と狂言の総称であり、平安時代の猿楽から鎌倉時代に歌舞劇が生まれ能と呼ばれた。猿楽本来の笑いを主とする演技は科白劇の様式となり狂言と呼ばれるようになった。明治以降猿楽は能楽と呼ばれるようになった。等々、説明を受けたがこの方面の知識はほとんど無いのでちゃんと理解出来なかった。信長が人生五十年を舞ったことで象徴されるように“能”“謡”はオトコの大きな教養である。岩淵さんの謡の趣味は素晴らしいと高15回生でもある妻は共感を抱いていました。岩淵さんの趣味の一端を紹介させて頂きました。

本日、第277回北社会

講師：岩淵 勲氏（高15回） 古河スカイ株式会社 特別顧問

国学院大学法学部 講師（環境法）

テーマ：「環境ガバナンス」

講師・岩淵氏と淡路剛久氏の共著「企業のための環境法」～有斐閣～を読んでいます。典型7公害（大気汚染・水質汚濁・土壌汚染・騒音・振動・地盤沈下・悪臭）とか1968年のカネミ油症事件、1970年の光化学スモッグ事件等々を思い出しました。そして本書が企業だけにとどまらず、環境行政や環境教育にも役立つことが認識され、岩淵氏の功績を同窓として誇りに思いますし、本日の講演を楽しみにしております。

次回の北社会 開催日：1月 日（ ）

新年会・総会そして会員ひとりひとりの60秒スピーチ

北社会のスタートは1975年でした。来年2010年は35周年になります。母校も創立110周年で同窓会・評議員会が12月19日開催され記念事業について協議するとの案内が届いております。ひとつの節目の2010年ですのでささやかに祝おうと思っております。どうぞご提案を世話人までお寄せ下さい。